

大里中学校 音楽科シラバス 1 学年



1 授業のねらい（身につけて欲しい力）

教科書名「中学生の音楽 1」
補助教材「」

- ・実技・歌唱・鑑賞を通して「芸術としての音楽」を学習する。
- ・歌唱や楽器などの自己表現力の育成や、鑑賞などによってその美しさを感じ、感受性を豊かにするなど音楽を通して芸術文化を総合的に学習する。
- ・国際社会に通じる、日本と世界の音楽を学習する。

2 授業の進め方

- ・一斉指導、グループ別指導、自主的学習を組み合わせた授業の展開。
- ・各々の生徒に対応した実技テストや鑑賞指導により、その生徒が持つ感受性や表現能力の可能性を引き出し、音楽の持つ美しさやその多様性を感じさせることを目標とする。
- ・ICT教育に関しては、iPadなどを適宜利用する。

3 学習上の留意点

- ・授業中・鑑賞中・演奏中において聴くことに集中する。
- ・自ら音楽を実践（演奏）できること。
- ・積極的に授業に参加すること。
- ・忘れ物はしない。
- ・音楽室の備品を大切に扱う。

4 補助教材の活用方法（自学自習の進め方）

- ・単元に合わせたプリントを配布・送信する。

5 単元テスト

実技テスト・鑑賞感想文・単元テスト・学習用具点検

※単元テストのみで評価が決まるわけではなく、次の評価の内容と方法で総合的に学習状況をみとって評価する。

6 評価の内容と方法

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容	・実技テスト（歌唱・器楽）での積極的な態度と、授業中に指示した音楽的な表現力を発揮する。 ・楽典においては正しい知識を獲得し、それを鑑賞・実技に生かす。	・鑑賞感想文においては、その楽曲の持つ音楽的な工夫や、それらに関わる歴史的な背景に興味を持つことができ、感想を書くことができる（それに準ずるワークシート等記入）。	・積極的に授業に参加し、主体的に実技練習や実技テストに取り組む。 ・提出物に丁寧に取り組み、期限を守って提出できる。
方法	この方法で学習状況をみとり、各単元ごとで示す「ルーブリック」に照らして評価します。		
	・実技テスト ・単元テスト	・鑑賞感想文 ・単元テスト	・各種提出物 ・単元テスト